

教育委員会事務局文化財課  
担当者 安（やす）  
内線 5625  
直通 225-1844

## 文化庁選定「歴史の道百選」の追加選定について

- 1 文化庁では、古くから人、物、情報の交流の舞台となってきた道や水路等の保存と活用を呼びかけ、顕彰するため、「歴史の道百選」として78か所を選定していた。今回、その理解をより一層深めるため、令和元年10月29日(火)に、36か所を追加選定した(合計114か所)。
- 2 石川県からは金沢市と津幡町を通り富山県にまたがる「田近越・小原越・二俣越(朴坂越・三ノ坂越)」が追加選定された。これにより、石川県内の「歴史の道百選」は5か所となった。

たちかごえ おはらごえ ふたまたごえ ほうさかごえ さんのさかごえ  
田近越・小原越・二俣越（朴坂越・三ノ坂越）

### 選定箇所

- 田近越：富山県小矢部市八講田、五郎丸、八伏地内  
石川県河北郡津幡町字南横根、字常德地内  
石川県金沢市琴町、北千石町地内 延長約 3 km
- 小原越：富山県小矢部市五郎丸、内山地内  
石川県金沢市竹又町、堀切町、桐山町 延長約 6 km
- 二俣越：富山県南砺市坂本、小又  
石川県金沢市荒山町、二俣町、不室町、釣部町、牧町、伝燈寺町、  
夕日寺町、御所町、山王町地内 延長約 9 km

### 概要

加賀と越中を結ぶ道であり、中世まで遡る。金沢と砺波郡間において田近越・小原越・二俣越の3ルートが確認されており、北国街道（北陸道）を利用するよりも距離が近いことから、活発な往来があった。道筋には中世の山城が国境で対峙するように築かれており、天正12～13年（1584～1585）の前田利家と佐々成政による加越国境の攻防の緊張を伝えている。

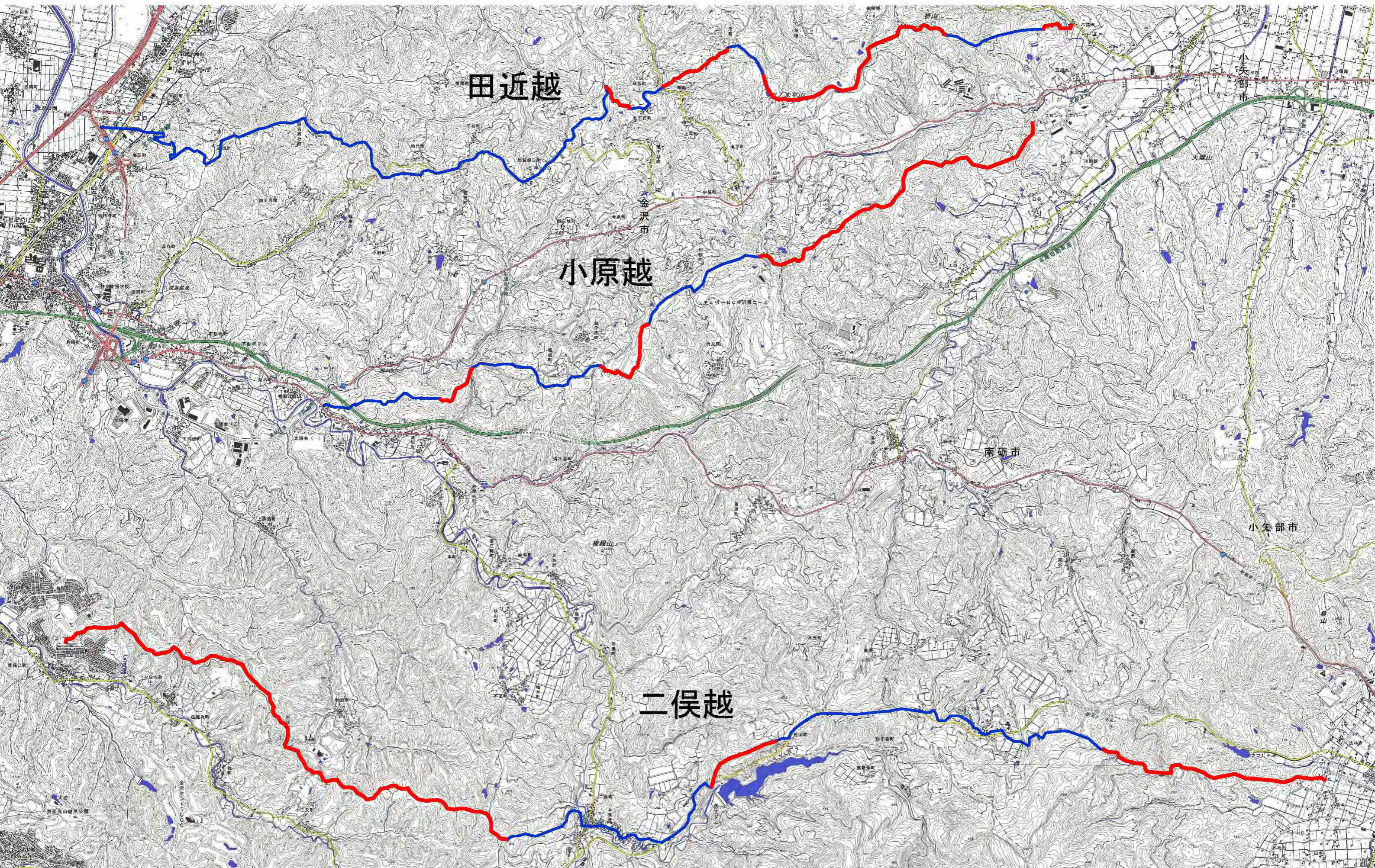
田近越は砺波郡の北部（現在の小矢部市）から山越えし、金沢北部の森下川右岸の平野部に出て金沢へ向かう道である。道筋には一乗寺城跡と朝日山城跡がある。

小原越は砺波郡の北部から山越えし、森下川沿いの谷に出て金沢へ向かう道である。道筋には松根城跡と切山城跡があり、松根城跡では堀切が道を切断する戦時封鎖が確認されており、一部が史跡「加越国境城跡群及び道」に指定されている。

二俣越は砺波郡南部（現在の南砺市）から山越えして金沢城下の東に出る道である。道筋には荒山城跡と高峠城跡がある。朴坂越は越中側の地元での通称、三ノ坂越は加賀側の地元での通称である。

### ※既選定の4か所

- 北陸道－俱利伽羅峠越（石川県津幡町、富山県小矢部市）
- 白ヶ峰往来（石川県宝達志水町、富山県氷見市）
- 石動山道（石川県中能登町、富山県氷見市）
- 白山禅定道（石川県白山市、福井県勝山市、岐阜県郡上市）

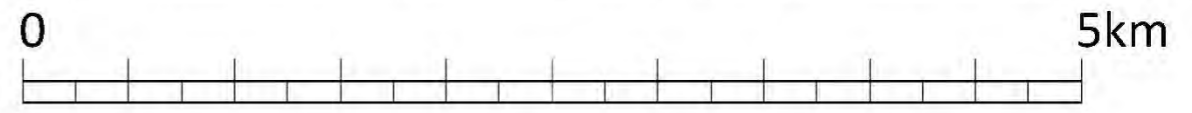


田近越

小原越

二俣越

— 歴史の道 選定箇所    — 歴史の道 道筋





小原越



二俣越